

写真展開催の趣旨

屋敷林はその昔、母屋の保護のため防風目的で植栽されたものですが、人の生業の中で共に生き抜き、今では大木叢となってその景趣は地域の風致を高め、緑の郷土遺産と化しています。それだけでなくクールアイランドや生物多様性の維持など自然環境の安定に少なからず役割を果たしています。

しかし、こうした屋敷林の存在や価値は一般社会にほとんど知られておらず、人知れず存亡の危機に直面しております。土地の相続対策や屋敷林の維持管理の困難が原因で結果、土地処分を余儀なくされているからです。屋敷林は土地持ちの悩みと、冷ややかな目で見られる方もいますが、環境変動の時代を鑑みればここまで稀少で歴史ある都市の緑はほかになく、自然環境資産あるいは記念的文化財として特別に保護しなければならないものです。

屋敷林の保全に資する法制度もいくつかありますが、個人の方ではどうにもなりません。

今回の展示会は、以上の認識のもと、都内各所の屋敷林を紹介し、その価値の重要性や守るべきことの必要性を訴求します。特に地元西東京市下保谷の高橋家屋敷林、主屋については今、次世代に残すべきものとして、多くの方のご支援、ご署名をいただきたい思いで展示します。

<展示概要>

展示テーマ 「西東京市と東京の屋敷林を守ろう！」

主 催 作左衛門の森を愛する会

協 力 東京屋敷林ネットワーク

展示期間 2023年12月1日(金)～12月8日(金)

展示時間 午前9時から午後5時まで(1日は午後から、8日は午前のみ)

場 所 西東京市保谷駅前公民館(西友5階)

西武線保谷駅南口歩5分

展示内容 写真パネル、説明資料、関係図書

常駐者 有

入 場 無料

※連絡先 作左衛門の森を愛する会 伴 090-8485-3965
東京屋敷林ネットワーク 大塚 090-9397-7694
Mail info@yashikirin.net
URL <http://yashikirin.net/>